

高知地方法務局と高知人権擁護委員協議会は、手作りの着ぐるみ劇「人KEN まもる君・あゆみちゃんとどうぶつ村のなかまたち」を、高知市立横内小学校、高知市立久重小学校で上演しました。

劇の実施には、学校法人龍馬学園龍馬看護ふくし専門学校 子ども未来学科/福祉保育学科 1年生がボランティアで参加してくれました。

人権イメージキャラクター
人KEN あゆみちゃん



◆劇のあらすじ

ここは、どうぶつ村のなかよし小学校。今日も元気にどうぶつの子ども達が登校してきました。今日はみんなで飛び箱に挑戦です。いつもの仲良し四人組も挑戦しますが、運動の苦手なりすなちゃんが、やっぱり「できないもん」と言ってとうとう泣き出してしまいます。他の三人の子ども達は一生懸命励ますのですが、やっぱりだめでした。

暑い暑い夏休みが終わり、真っ黒に日焼けしたどうぶつ村の子ども達は、校庭で鬼ごっこや、かけっこ、ボール遊びに夢中です。くま子先生が子ども達に、秋の運動会が開かれることを知らせています。「できないもん」のりすなちゃんは、またやっぱり「できないもん」です。そなりすなちゃんと同じチームになると、きっと負けてしまうにちがいありません。さすがの仲良しの友達も、ちょっと困ってしまいます。

その時、おおじろうくんが、すばらしい解決策を考えました。

仲間の励ましと自分の勇気で、みごとリレー競争で勝利することができたりすなちゃん。仲間の弱さを受け入れる勇気と、自分の弱さを乗り越えようとする勇気。りすなちゃんの心の成長と、友達のやさしさを通して、勇気をもって自立する喜びを伝えるお話になっています。

◆劇の様子



エンディングでは、人権擁護委員から着ぐるみ劇に協力してくれた方々の紹介と、「思いやりの心と優しい心と勇気を持ってもらいたい」ことを伝えました。



◆この劇は、子どもたちがより親しみやすく、また、たくさんの方々に支えられ生きていることを学んでもらうため、着ぐるみ、大道具等の製作から実施にいたるまで、たくさんの方々に協力していただきました。